

大阪大学接合科学研究所とフロニウス・ジャパンとの 合同ワークショップの開催

田中 学

接合プロセス研究部門 エネルギー制御学分野 教授

平成 30 年 1 月 24 日 (水) に大阪大学 接合科学研究所 荒田記念館にて本研究所とフロニウス・ジャパンとの合同ワークショップ「Requirement for the future welding & how to simplify welding process」が開催されました。

本研究所では、世界の大学・研究機関との国際学術交流を通じて、積極的な国際共同研究の推進と、グローバルな視野での教育研究活動を展開しています。この度、欧州を中心に先鋭的な溶接技術開発を展開している Fronius International 社傘下のフロニウス・ジャパンと、合同シンポジウムを開催しました。

冒頭、本研究所の南 二三吉 所長から開会の挨拶とともに本研究所についての紹介がありました。それに応えて、フロニウス・ジャパンの David Kreuzeder 代表から同社の紹介と活動についての紹介がありました。その後、本研究所から 2 件の

溶接接合科学に関する先端研究についての講演があり、他方、フロニウスから 2 件の先進溶接技術についての講演がありました。講演終了後、本研究所の施設見学に合わせて、バーチャル・ウェルダー (デジタル溶接技能教育システム) などの先進機器の見学も実施しました。最新のデジタルパルスアーク溶接機では、高精度なパルス電流波形制御により、アークプラズマ自身をスピーカーにして有名な映画音楽を発生させながら、高品質な溶接を実現するデモンストレーションが行われるなど、見学だけでなく楽しい工夫がたくさん見られました。

世界における溶接分野の先端科学と先端技術が交差するアゴラとして、未来の溶接技術について夢を描きながら議論を交わす絶好の機会になったものと思います。

